すたぺんドリル

小６国語　文章問題　文学②−１

日付	
月　日	名前

問題　次の文章を、まず声に出して読みましょう。その後、問題に答えましょう。

①親ゆずりの無鉄ぽうで子供の時から損ばかりしている。小学校に居る時分学校の二階から飛び降りて一週間ほどこしをぬかした事がある。なぜ②そんなむやみをしたと聞く人があるかも知れぬ。別段深い理由でもない。新築の二階から首を出していたら、同級生の一人がじょう談に、いくらい張っても、そこから飛び降りる事は出来まい。弱虫やーい。とはやしたからである。小使い＊に負ぶさって帰って来た時、おやじが大きな眼をして二階ぐらいから飛び降りてこしをぬかすやつがあるかと言ったから、この次はぬかさずに飛んで見せますと答えた。

＊小使い……用務員さんの古い言い方。現在は使わない。

（夏目漱石作「坊っちゃん」より）

1　―①について、「親」の「無鉄ぽう」さが表現されているところを探して、―線を引きましょう。

2　―②について、次の1・2に答えましょう。

1　「そんなむやみ」とはどんなことですか。簡単に説明しましょう。

（　　）

2　「そんなむやみ」をした理由は何ですか。それが分かるところを探して、～線を引きましょう。

3　主人公の性格はどんなだと思いますか。合っていると思うものを選びましょう。

ア　おく病で、なかなか行動に移せない性格。

イ　物事をよく考えて、しんちょうに行動する性格。

ウ　物事をあまり考えずに行動してしまう性格。

エ　短気で、いつもい張ってばかりいる性格。